

# 岩手県の事業概要 ～岩手医科大学附属病院～



## 【1】地域概要

- ・自治体担当管轄課：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室
- ・児童数(0～18歳)：165,676人(令和4年(2022年)岩手県人口移動報告年報)
- ・児童精神科系 医師数：不詳
- ・児童精神科のある医療機関数・入院病床・病棟数：7ヶ所・18床・1棟  
(※病床・病棟数は児童精神科専用のもの)

## 【2】拠点病院・機関概要

- ・拠点機関名：岩手医科大学附属病院
- ・事業実施科名：児童精神科
- ・事業開始年：2018(平成30)年度
- ・子どもの心の診療機関マップ：未実施

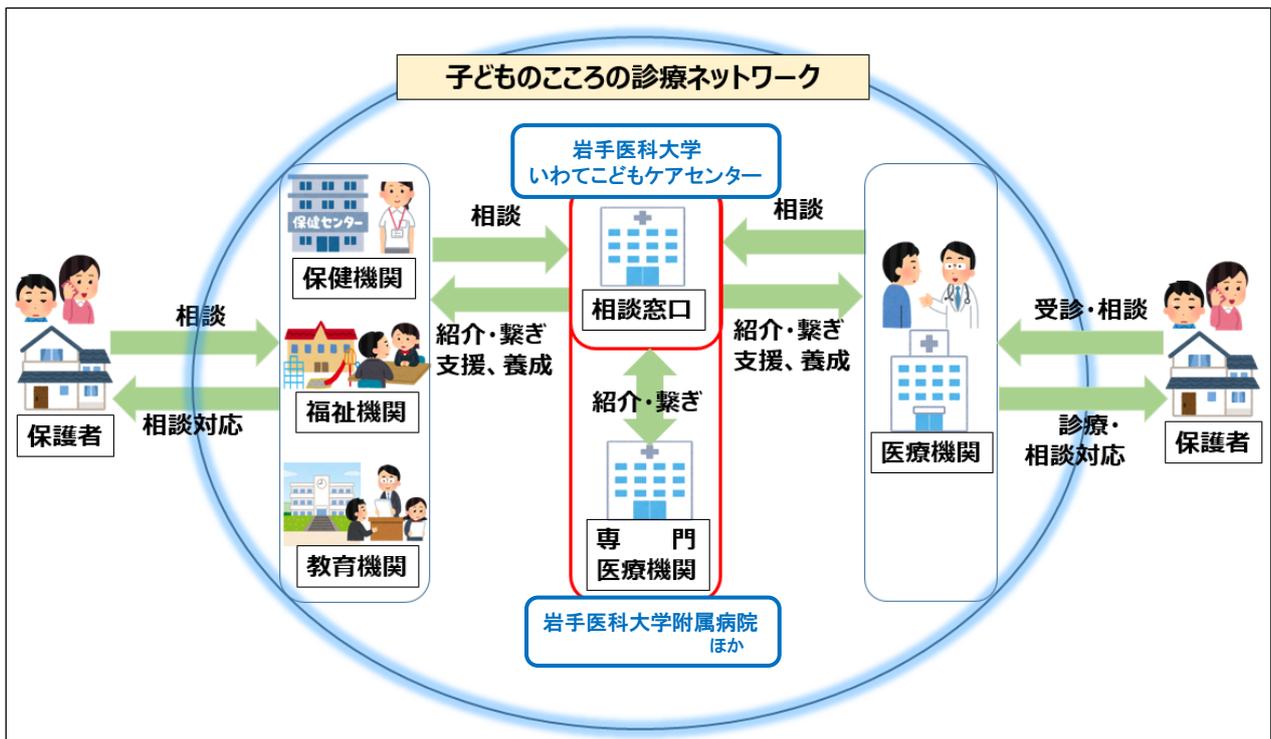
## 【3】事業実施への経緯

東日本大震災津波により被災した子どもの心のケアに関する支援体制や実践の中で積み重ねてきた知見について、引き続き継続・発展させるとともに、ここ数年ニーズが高まっている不適切な養育によるトラウマティックストレスや発達障がい等、被災に限らず幅広く専門的なこころのケアを提供できる体制を整備するため事業を実施することとした。



岩手県の事業概要～岩手医科大学附属病院～

## 【4】事業図



## 【5】実施事業の概要

- ①子どもの心の診療支援[連携]事業
  - ア 子ども心の診療相談窓口の設置(祝祭日以外の平日)  
関係機関からの子どもの心の相談に対応する。  
相談内容に応じて適切な機関へ繋ぐとともに、必要に応じて紹介先等の関係機関へ支援を実施する。
  - イ 子ども心のケアに対応している関係機関との連携会議  
子どもの心のケアに対応している関係機関とのネットワーク化に向けた活動、ネットワーク構築のための検討等を行う。
  - ウ 児童養護施設等への巡回訪問指導・ニーズ調査(対象:8施設)  
日常的に子どもを支援している児童養護施設等の職員(里親支援専門員含む)に対して、子どもの見立てや関わり方等に関する助言等を実施。
- ②子どもの心の診療関係者研修・育成事業
  - ア 子ども支援に従事する支援者向け研修会の実施(2回)
  - イ 各種講演会等への講師派遣及び関係機関へのケースコンサルテーション
  - ウ 事業担当者や関係機関職員の専門研修等の受講
- ③普及啓発・情報提供事業
  - 広報・ホームページ等による関係機関への普及

## 【6】特徴や特に力を入れている事業内容

- 子どもの心の診療に関する相談への対応
- 子どもの心のケアや支援に携わる支援者の専門性の向上
- 児童養護施設等の職員を対象とした研修会の開催およびコンサルテーション

## 【7】地域や関係機関との連携の状況

- ・支援者支援(主にケースコンサルテーション)
  - 連携先:学校、こども園、保育園、児童養護施設、市町村教育委員会、放課後等デイケア、学童
  - 方法:対面、オンライン(zoom、Teams)、電話
- ・受診相談
  - 連携先:医療機関(小児科、内科、耳鼻科等)、教育委員会、市町村の健診担当課、発達支援センター、児童相談所
- ・情報共有会議
  - 連携先:県・市町村教育委員会、教育事務所、岩手県教育委員会こころのサポートチーム、SSWネットワーク会議
  - 方法:オンライン
  - 対応した職種:主に心理士、ソーシャルワーカー
- ・研修会の開催 年2回  
医療関係者、教育関係者などを対象にした研修会を開催。
- ・講師派遣(医師、心理士) 年5～6回

## 【8】事業による効果と思われるもの(H28-30年度からの改善点など)

- ・ 子どもの心の問題に関する受診や相談のニーズが増加の一途をたどる中で、本事業の取り組みの認知度が上がったことにより、関係機関からの問合せや相談が増えている。
- ・ 情報共有する機関や相談が増えたことにより、県内における子どもの心の課題をより把握できるようになり、ニーズに沿った取り組みにつなげられるようになった。

## 【9】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

- ・ 支援者向けの研修、事例検討、コンサルテーションの実施により、学校現場等地域における子どものこころのアセスメント・トリアージ機能の向上を図る。
- ・ 県内で子どものこころの問題に対応できる医療機関、児童福祉・教育関係機関との連携強化。
- ・ 初診待機期間の短縮。
- ・ 受診後の地域における継続的な支援に対するコンサルテーション。